

# 平成21年度 垂井町幼稚園教育指導の方針と重点

垂井町の幼稚園教育では、これまで幼児の発達の課題に即し、意図的な環境構成を工夫しながら遊びや生活を通した総合的な指導を展開し、思いやりの心をはぐくむ教育を進めてきた。こうした指導を通して幼児は人とのかかわりの中で自分の思いを伝え、相手の気持ちに気付けるようになるなど自ら活動する意欲や態度が育ちつつある。

一方、幼児を取り巻く環境の変化は、幼児の心や行動に大きな影響を及ぼしている。また、子育て環境の変化に伴い、育児不安の親の増加や家庭、地域社会の教育力の低下等、問題も生じている。このような中で、幼稚園における幼児教育や子育て支援の一層の充実が求められている。

こうしたことを踏まえ、幼稚園では集団生活の中で幼児が自己を発揮しながら「生きる力」の基礎を培い、自ら学び、自ら考える教育をめざしていかなければならない。そのために、家庭や地域社会と連携して開かれた幼稚園経営を推進していく必要がある。

垂井町教育委員会は、以上のことを踏まえ、垂井町民憲章の具現をめざし、「平成21年度 垂井町幼稚園教育指導の方針と重点」を次のように示す。

---

## 方 針

---

- 一人一人に「生きる力」の基礎をはぐくむ指導をする
- 幼稚園の教育目標の具現に徹する創意ある幼稚園経営をする

---

## 重 点

---

### 【幼稚園経営】

◎ 管理職がリーダーシップをとり、全教職員が協力した活力ある幼稚園経営の推進

- ◇ 特色ある教育課程の構成・実施をする。
- ◇ 情報提供と学校関係者評価による開かれた幼稚園づくりをする。
- ◇ 幼稚園内外における危機管理体制を確立する。
- ◇ 子育て支援を充実させる。

### 【研 修】

◎ 課題を明確にし、確かな指導力を身に付ける主体的な研修の推進

- ◇ 主体的な自己研修を推進する。
- ◇ 組織的な研修を実施する。

### 【指 導】

◎ 発達の課題に即し、遊びを通した総合的な指導

- ◇ 道徳性の芽生えを培う心の教育を充実させる。
- ◇ 意図的・計画的な環境構成を工夫し、適切な指導・援助をする。
- ◇ 適切な特別支援教育を推進する。